

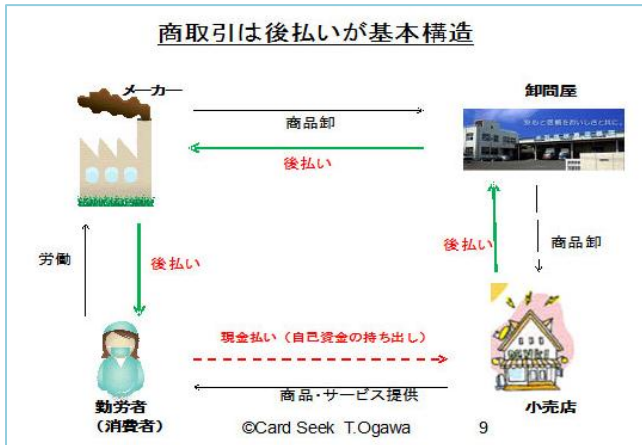
急速に広がるカード社会とネット！

● しよう会・7月例会、小河俊紀さんの講演から！
 昨15日の **Card Seek** 代表の小河俊紀さんのご講演「2020年、東京オリンピックに向けて」進展するキャッシュレス社会とネット」の続きです。

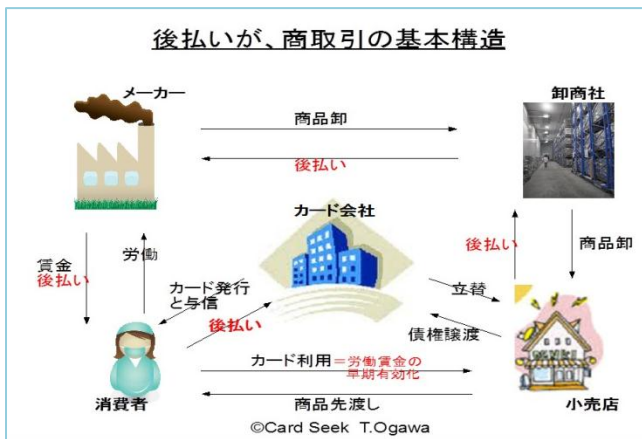
* *

5) カードの基礎知識 (つづき)

現金払いの好きな皆さんは、実は「立替払いをしている」という現状を認識してください。



商取引では、小売 ⇒ 卸商社 ⇒ 製造業 ⇒ 労働賃金に至るまで、商取引における買い手側の決済は基本的に後払いです。何かしらの方法で代金を後払いしているのが現実です。ところが勤労者が小売店から購入する時には自己資金を持ち出して現金払いを行っています。これは立替払いなのです。「現金払いは健全で、後払いは不健全」という時代錯誤が続いています。実に大きな錯覚です。これをカード決済を導入することで、世界と共通する「キャッシュフロー面で、現金払いの方がむしろ不健全」というものにならなくてはならないと考えます。



* *

6) キャッシュレス社会の起爆剤

各種国際汎用カードに年齢制限があることをご存じでしょうか。クレジットカード(後払)は18歳以上、デビットカード(即時払)は15歳、プリペイドカード(前払、記名式)は中学生以上です。

国際ブランド各種カードの特徴比較

	国際ブランド・クレジットカード (後払)	ブランド・デビットカード (即時払)	ブランド・プリペイドカード (前払、記名式)
ブランド種類	VISA, マスター・JCB	同左	同左
入会審査	あり	なし	なし
年齢制限	18歳以上	15歳(高校生)以上	中学生以上(JCB未定)
年会費	発行会社による	同左	同左
利用できる場所	上記ブランドを扱う国内・海外加盟店、ネットショップ	同左(一部除外※) ※高速道路、ガソリンスタンド、公共料金などオフライン分野。	同左(一部除外※) ※高速道路、ガソリンスタンド、公共料金などオフライン分野。
利用可能時間帯	24時間(店舗の営業時間内)	店舗営業時間内、銀行システム稼働時間(通常8:00~21:00)	24時間(店舗の営業時間内)
利用ポイント	あり(0.5~1.0%)	あり	あり

次にキャッシュレス社会の起爆剤として考えられるのがネット販売です。現在は15・2兆円規模ですが、2020年尼は22・9兆円と個人消費の1割になる勢いです。ポイントのマネー化も大きな起爆剤です。私がヤマハに居た頃に国内で初めてマネー化を進めてヒットしたのですが、当時の経営者達が心配をしまい3年程度で止めてしまいました。あの時、特許申請していれば・・・と思います。そして、スマートフォンの普及です。若者の多くがスマホで買い物をしています。

* *

7) 克服すべき基本課題 ①多重債務者問題

もちろん克服すべき課題もあります。多重債務者問題です。我が国では、信販系の株式会社CIC(6・82億件)、銀行系の全国銀行個人信用情報センター(0・87億件)、貸金系の株式会社日本信用情報機構(3・56億件)の3つが信用情報機関としてあり、情報を共有しながら信用審査を行っています。

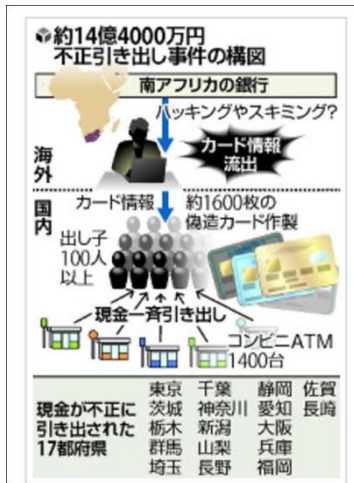
審査では現在の収入よりも過去の信用が一番大切です。現在問題となっているのは、学生達のスマホ料金の支払い遅延などです。スマホ本体の分割払い+使用料+ゲームなどの課金によって遅延を起こしてしまい、それが5年間消えないためさまざま購入ローンが組めないという事例もあります。

ネットのなりすまし不正使用対策もあります。



7) 克服すべき基本課題 ②不正使用対策

カードの偽造防止対策もあります。5月にコンビニのATMから14億4千万円もの現金が偽造クレジットカードの使用で一斉に引き出されるという事件が起りましたが、これは4月に国から注意が促されたばかりだったのです。アメリカでは大統領令で、ICカード化を2017年度までに完了するように努めており、日本が標的にされるのではないかと心配されていた矢先でした。



国策として2020年までに国内発行カード100%をIC化するとともに、決済端末のIC化が加速されます。IC端末の普及、大型店のPOSレジのIC化です。

7) 克服すべき基本課題 ③消費者啓発

消費者が知っている知識では「クレジットカードの翌月一括払いの支払いでは金利がかからないこと」(63・2%)、「クレジットカードを紛失した際の対象方法」(56・2%)、「クレジットカードやデビットカードが第三者に不正利用されても、被害金額はカード発行会社が保証すること」(43・6%)となっており、消費者のカード利用への意識啓発が大切です。

パソコンへのセキュリティソフトの導入でも41%が導入していないという状況です。

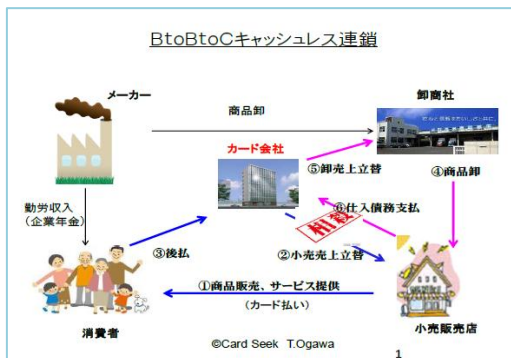
* *

8) 未開の巨大分野 ①公共教育分野

最後に、今後、クレジットカード決済を進めることができる分野としては、公共・教育分野があります。市場規模として50兆円規模です。ちなみにNHK受信料のカード決済が600億円/6000億円で10%となっています。

8) 未開の巨大分野 ②企業間取引のカード決済

10年前に特許申請した企業間の決済システムです。



ご清聴ありがとうございました。【図等は、「クレジットカード徒然日記」の小

河俊紀さんのコラムより引用させていただきました】
<http://creditcard-diary.com/category/column/>

* *

財布の中や自宅にはたくさんのカードがあるのですが、最近、パスモとナナコは使っているのですが、クレジットカードはほとんど使わない私にとっては、目から鱗のお話でした。会場からも質問が…。

* *

Q. 財布の中にたくさんのカードあるのですが、**統合されていくという見通し**はありますか。

A. マイナンバー制度が紐を付ける役割を持っていると思いますが、見通しは何とも言えません。ただ、アメリカでは1枚のカードに5~6枚のカードをボックス化している例はあります。

Q. **カード会社の運営**は何で成り立つのですか。

A. 大きく4つです。加盟店手数料、年会費、キャッシングローン、代行手数料。実態は薄利多売です。

Q. **カードの控え**は大切です。

A. カードを紛失した時の備えは大切です。

Q. **カードの審査で一番審査される点**はなんですか。

A. それまでの信用です。審査時点での収入は返済を考える上で大切な要素ですが、収入は変動しますので、それよりもその方のさまざまな生活習慣上の信頼度です。

Q. 主婦はポイントが付くというので何でもカードを作るのですが、**クレジットカードの持ち方**として何種類が最適ですか。

A. 3種類くらいに集約したらと思います。カードの締め日、支払い日の関係で違うものを選ぶ。ポイントや現金化できるものなど用途によって選ぶことが大切ではないでしょうか。



* *

さて、次回の8月19日“しよう会”は「**齊之平様の講演会**」ですが、その次9月15日の例会は、8月7日に「**寺フェス**」(写真右:チラン)を開催する福島充さんを中心とした寺フェスメンバーによる報告会です。乞うご期待! 昨日も18名のメンバーが熱心に勉強しました。**感謝!**

